# TREND-ONE システムチェンジ時のデータ移行の手順

データ移行の手順(BLUETREND XA 2015以降から)について解説します。

はじめに 1

### BLUETREND XA の現場データと全設定をバックアップします

システムチェンジする前に、現在のBLUETREND XA環境で

- 現場データのバックアップ
- 全設定のバックアップ

をおこないます。

BLUETREND XA および TREND-ONE のインストール方法によっては、「現場データ移行ツール」「設定の移行ツール」でデータを移行できるため、バックアップデータが必要無い場合もありますが、念のためバックアップします。

### スタンドアロンの場合

データを移行したいPCで、現場データと全設定のバックアップをおこないます。

### サーバーインストール(共同編集なし)の場合

現場データのバックアップは、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。 全設定のバックアップは、全クライアントPCでおこないます。

### サーバーインストール(共同編集あり)の場合

サーバー現場データのバックアップは、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。 ローカル現場データのバックアップと、全設定のバックアップは、全クライアントPCでおこないます。

※ サーバーインストール(共同編集なし) (共同編集あり) で、全設定のバックアップを全クライアントPCでおこなうのは、 各クライアントPCのレジストリをバックアップするためです。

## BLUETREND XA のバックアップ方法

スタンドアロン または サーバーインストール (共同編集なし)の場合

BLUETREND XA の「現場管理」で、現場データと全設定をバックアップします。
 現場データのバックアップ : [ツール] – [バックアップ] – [現場のバックアップ]
 全設定のバックアップ : [ツール] – [バックアップ] – [全設定のバックアップ]



※ サーバーインストール (共同編集なし)の場合、現場データのバックアップは<u>いずれかのクライアントPC1台</u>でおこないます。 全設定のバックアップは、<u>全クライアントPC</u>でおこないます。

サーバーインストール(共同編集あり)の場合

1. BLUETREND XA の「現場管理」で、現場データと全設定をバックアップします。

まず「サーバー現場」を選択し、

[ツール] – [バックアップ] – [現場のバックアップ]

を実行します。この処理はいずれかのクライアントPC1台でおこないます。すべてのクライアントでおこなう必要はありません。

😨 現場管理(共同編集あり) - [未分類]		
ファイル(F) 工区(K) 現場(G) 表示(V ツー	·ル(T) 「ソテナンス(M) ヘルプ(H)	
🛛 📶 工区作成  👘 現場作成 📘 💽	גאגד–(D)	□□ね++_パー理性  999、ローカルノサーバー現状
	バックアップ(B)	現場のバックアップ(G)
	リストア(K) バックアップ現場の削除(E)	合種データのハックアッノ(O) 各種データを別フォルダーへコピー(K)
	BTVデータの登録・コンバート(F) >	設定のバックアップ(S)
▼ サーバー現場 ・	ネットワーク環境からの切り離し(C)	全設定のバックアップ(A)
	持出し現場の反映(Q)	
	オプション(O)	

次に「ローカル現場」を選択し、

[ツール] – [バックアップ] – [現場のバックアップ]

[ツール] – [バックアップ] – [全設定のバックアップ]

を実行します。この処理は全クライアントPCでおこないます。

🙀 現場管理(共同編集あり) - [平成24年	度分]	
ファイル(F) 工区(K) 現場(G) 表示(V	ツール(T) <sup>(</sup> ンテナンス(M) ヘルプ(H)	
🛛 🕺 工区作成 👘 現場作成 🛛 💽	3טצב-(D)	現場 同学 サーバー現場 1999、ローカルノサーバー現
カル現場 🦲	バックアップ(B)	→ 現場のバックアップ(G)
	ッストナ(R) バックアップ現場の削除(E)	→
	BTVデータの登録・コンパート(F) コンパート(V)	<ul> <li></li></ul>
	オプション(O)	
•••		2016/07/05 17:11-50

# 2 必要なデータ移行の方法

データの移行の方法には、以下の5種類があります。TREND-ONEのインストールの方法によって、必要なデータ移行の方法が異なります。

1	「設定の移行ツール」で、全設定を移行P.4
2	「現場データ移行ツール」で、現場データを移行P.6
3	全設定のバックアップデータから、全設定を移行P.9
4	現場のバックアップデータから、現場データを移行P.11
5	「サーバー現場移行ツール」で、サーバー現場を移行P.14
6	フリーフォーマットのデータをインポートP.17

下表に、BLUETREND XA と TREND-ONE のインストール方法と、必要なデータ移行の方法をまとめます。

BLUETREND XA インストール方法	TREND-ONE インストール方法	TREND-ONE インストール先	全設定の 移行方法	現場データの 移行方法	フリーフォーマットの インポート
スタンドアロン	スタンドアロン	XA と同じ PC	1	2	(※2) 6
		XAと別PC	3	4	6
サーバーインストール (共同編集なし)	サーバーインストール (共同編集なし)	XA と同じ PC (※1)	1	2	(**2)
		XAと別PC (※1)	3	4	6
サーバーインストール (共同編集あり)	サーバーインストール (共同編集あり)	XA と同じ PC (※1)	1	(ローカル) 2 (サーバー) 5	(**2) 6
		XAと別PC (※1)	3	(ローカル) 4 (サーバー) 5	6

※1 クライアントインストール先のPCのことです。

※2 XAの「各階平面図求積表」の初期フォームが必要な場合のみ、おこないます。

# 1 「設定の移行ツール」で、全設定を移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「<u>同じPC</u>」の場合は、プログラムのインストール時に「設定の移行ツー ル」で全設定を移行します。

またフリーフォーマットデータの移行も、同時におこないます。



1. XAと同じPCに、TREND-ONE をインストールします。

※ サーバーインストール(共同編集あり)または
 サーバーインストール(共同編集なし)
 の場合は、XAと同じPCに、クライアント
 インストールします。



2. インストールが終わると、「設定の移行ツール」が表示されます。

[移行する] と [設定ファイルとレジストリ] を選択して、 [OK] をクリックします。

セットアップー移行
<b>()</b> BLUETREND XA 2016 が見つかりました。
BLUETREND XAで使用していた設定ファイル・レジストリを、 TREND-ONEに移行しますか?
<ul> <li>○ 今回は移行しない(N)</li> <li>◎ 移行する(Q)</li> </ul>
<ul> <li>         ・設定ファイルとレジストリ(<u>B</u>)     </li> </ul>
○レジストリのみ( <u>R</u> )
設定ファイル・レジストリ、およびその移行方法についての 詳細はこちら( <u>H</u> )
「今回は移行しない」を選択しても、設定ファイル・レジストリは、 メンテナンスツールにより移行が可能です。
ОК

ユーザーが編集した計算書フォーム(フリーフォーマット)がある場合は、次の画面が表示されます。
 移行する計算書フォームを選択して[OK]をクリックします。



以上で全設定の移行は完了です。

※「設定の移行ツール」は、後から「スタートメニュー」 – 「すべてのアプリ] – [FukuiComputerApplication] – 「メンテナンスツール] で開くこともできます。

# 2 「現場データ移行ツール」で、現場データを移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「<u>同じPC</u>」の場合は、「現場管理」プログラムの起動時に「現場デー 9移行ツール」で現場のデータを移行します。

※サーバーインストール(共同編集なし)の場合は
現場データの移行は、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。
(サーバーの現場データが移行されます。)

※サーバーインストール(共同編集あり)の場合は 全クライアントPCで、現場データの移行をおこないます。 (ローカルの現場データが移行されます。)

**1** TREND-ONEの「現場管理」を起動します。



2. 「現場データの移行を行いますか?」とメッセージが表示されますので、 [はい]をクリックします。



#### 3. 「現場データの移行ツール」が表示されます。

移行する現場データのチェックをONにして、[実行]をクリックします。

データ移行	行							
BLUETREND XA 現場データが見つかりました。移行する現場を選択してください。 移行処理はTREND-ONE現場フォルダーにBLUETREND XA現場データを複写する形で行われます。 (移行処理を行ってもBLUETREND XA現場データはそのまま残ります。)							現場数: 移行現場数:	6 現場 3 現場
22行)	済み	現場名	工区名	親工区	最終更新日	フォルダー名		
	-	<ul> <li>新現場 かんたん路線</li> <li>サンブル測量設計データ</li> <li>建設EDマニュアルデータ作</li> <li>サンブル現場</li> <li>調査士編サンブルデータ</li> <li>移行する現場デーのチェックをON</li> </ul>	未分類 未分類 平成26年度 平成26年度 平成26年度 平成26年度		2015/10/26 9:16: 2015/11/06 11:2 2016/08/31 13:4 2016/07/05 17:1 2016/07/22 10:2 2016/07/29 11:0	C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B	TXA¥BTXAData¥[ TXA¥BTXAData¥[ TXA¥BTXAData¥[ TXA¥BTXAData¥[ TXA¥BTXAData¥[ TXA¥BTXAData¥[	BTXA】新現共 BTXA】かんた BTXA】サンプ BTXA】路線時 BTXA】ETXA BTXA】目TXA BTXA】サンプ
<						_		>
全運	₤択( <u>A</u>	.) 全解除( <u>D</u> )					実行( <u>1</u> )	閉じる( <u>O</u> )

4. 確認のメッセージが表示されますので、 [はい] をクリックします。



5. 移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、 [OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

6 移行した現場データには、「○」が表示されます。

[閉じる]をクリックします。

データ	修行							
i	BLUETREND XA 現場データが見つかりました。移行する現場を選択してください。 現場器 移行処理はTREND-ONE現場フォルダーにBLUETREND XA現場データを複写する形で行われます。 移行到 (移行処理を行ってもBLUETREND XA現場データはそのまま残ります。)							
移	宇湾ム	現場名	工区名	親工区	最終更新日	フォルダー名		
	0 0 - 0	新現場 かんたん路線 サンガル測量設計データ 建設EDマニュアルデータ作 サンブル現場 調査士編サンガルデータ 移行した現場 (こは、「○」た	<ul> <li>未分類</li> <li>未分類</li> <li>平成26年度</li> <li>平成26年度</li> <li>平成26年度</li> <li>平成26年度</li> <li>平成26年</li> <li>平成26年</li> <li>データ</li> <li>表示</li> </ul>		2015/10/26 9:16: 2015/11/06 11:2 2016/08/31 13:4 2016/07/05 17:1 2016/07/22 10:2 2016/07/29 11:0	C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B C:¥FCAPP¥B	TXA¥BTXAData¥ TXA¥BTXAData¥ TXA¥BTXAData¥ TXA¥BTXAData¥ TXA¥BTXAData¥ TXA¥BTXAData¥	¥(BTXA)新現共 ¥(BTXA)かんた ¥(BTXA)かんた ¥(BTXA)登えが ¥(BTXA)登場線 ¥(BTXA)登場の ¥(BTXA) ¥(BTXA) ¥(BTXA) ¥(BTXA) ¥(BTXA)
<								>
\$	選択(	<u>A</u> ) 全解除( <u>D</u> )					実行( <u>]</u> )	閉じる( <u>O</u> )

**7** XAの現場データが、TREND-ONEに移行されます。

	÷				_					現場管	理 - [平成26年
ファイル	ホーム	読込	書込	メンテナンス	Ø ∧.	/プ・F	AQ検索				
****	■● 編集 ■● 複写		現場作成	┣┓ 開く ┣┓ 複写	<ul> <li>□ 現場の情</li> <li>□ 作業デー</li> <li>□ いか</li> </ul>	報 タ	□→ 現場の抽	出表示			
· ·	和旧 X-	*	Ŧ		パネル.	5		桧安			
				790	70190			1244			
ТИ					現場名				最終更新日		計画機関名
 _	べてのI区	(20)			. <b>W</b> .	サン	プル測量設計	データ	2016/08/31 13:00:53		
► €	未分類( 平成26年	0) 度(3	3)		••••••••••••	<u>建</u> 重 2	殳EDマニュアル	データ作成	2016/08/31 13:00:53		
<b>₩</b> ₹	み箱(0)					調査	査士編サンプル	データ	2016/08/31 13:00:53		

以上でローカル現場データの移行は完了です。



## 全設定のバックアップデータから、全設定を移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「<u>別PC</u>」の場合は、「現場管理」プログラムを起動して全設定のバックアップデータから、全設定を移行します。

※サーバーインストール( 各設定ファイルの移行は、 (サーバーの設定ファイルが 残りのクライアントでは、下言	<b>共同編集あり)</b> \ずれかのクライご 移行されます。 己 <b>3.</b> の手順で	<mark>(共同編集なし)の場合は</mark> アントPC1台でおこなえばOKで ) 「「レジストリ」のみチェックをON	<u>*</u> す。 にして移行します。
リストマを行うま	一々を選択してください。		
341761137	70/#I/(UC///CV/0	全選択(1) 全解除(2)	
リストア対象			
条件	参照先		^
□ 座標・地積	網連	Internet in the second second second second	
	4	second to be an intervention of the second sec	
□ 路線・縦柱	都期連	I HALFFORD THE ANALYSIS CONTRACTORS	
□ 各階平面	図関連	I HARDER TREAS THE AND AND AND AND AND ADDRESS AND ADDRESS ADDRE	
□ 各階平面	図建物部品	- HALTHER COL. Server Warren Halt, appr	
□ 申請書辞	<b>a</b>	second to be an intervention of the	
	辞書	second and the second s	
	-7vF	second and the second second second second	
	-0	Contraction and the second second second second	
	- 『表	Contraction and the second second second second	
□ 横断横進	断面	Contraction and the second second second	
		and the second sec	
		and the second sec	
	9	and the second sec	
		and the second second second second	
	重く入分一	and the second sec	
	and the second second	management and her and another that after	
			~

**1** TREND-ONEの「現場管理」を起動します。

3



2. XAでバックアップした全設定をリストアします。 [読込] タブの [全設定] をクリックします。

🤹 ¢ 🖂 =				現場管理 - [すべての]			
ファイル ホーム 読込	書込 メンテナンス Q ヘルプ・FAQ検索						
は 現場 ・ こ ・ こ ・ 二 ・ 二 ・ 二 ・ 二 ・ 二 ・		TeamGEO Te	amGEO2 Mercury	は WingNeo4 デコルス/A3 現場 現場			
リストア	登録		コンバー	۰۲			

「ローカル現場」をクリックして選択後、[読込]タブの[全設定]をクリックします。

3 全設定をバックアップした保存先のフォルダーを指定して [次へ] をクリック、リストア対象の設定ファイルのチェックが 全てONになっていることを確認して [次へ] をクリックします。



4. [実行]をクリックします。

移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックし、 [閉じる]をクリックします。

全設定のリストア	? ×	
<ul> <li>(実行)ボタンで全設定のリストアを開始します。</li> <li>リストア元         C:¥         ELUETREND XA 2016 でパックアップされたファイルが増定されています。     </li> </ul>		[OK] をクリック 現場管理 ×
	シンボル 方位マーク パラントリック SXF環性セット 構造物数量マスター DM記号 DM記号 DMマスター 達物野帳 レジストリ	<u> </u>
<b>戻る(B)</b> 茨へ(M)	実行 キャンセル	戻3(B) 次へ(N) 実行 <b>閉び3</b>

5 全設定とレジストリが、TREND-ONEに移行されます。

### 以上で全設定の移行は完了です。

## 現場のバックアップデータから、現場データを移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「<u>別PC</u>」の場合は、「現場管理」プログラムを起動して現場のバックア ップデータから、現場データを移行します。

※サーバーインストール(共同編集なし)の場合は
現場データの移行は、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。
(サーバーの現場データが移行されます。)

※サーバーインストール(共同編集あり)の場合は 全クライアントPCで、「ローカル現場」を移行します。

**1** TREND-ONEの「現場管理」を起動します。

4



2. [読込] タブの [現場] をクリックします。



「ローカル現場」をクリックして選択後、[読込]タブの[現場]をクリックします。

3. XAのバックアップデータを指定し、移行する現場データのチェックをONにして、 [リストア開始] をクリックします。

現場のリストア(ローカル現場)	バック	アップデータ	を指定			?	×
リストア元(B)							~
C:¥						参照(F	<u>t</u> )
リストア対象現場(G)							
租坞名	工区名 △	工事番号 バ	ックアップ日	VerNo	履ムし	リストア対象	
<ul> <li> <i>○ブル</i>湯屋設計データ</li></ul>	平成26年度 平成26年度 平成26年度 平成26年度 データ )N	21 123 2 20 20	016/08/31 11 016/08/31 11 016/08/31 11 016/08/31 11	ВТХА ВТХА ВТХА ВТХА			
□ 旧形式のリンクデータもリストアする(L)		全選択( <u>A</u> )	全解除( <u>K</u> )	現場詳細	∃( <u>I</u> )	履歴の選択(	<u>H</u> )
リストア先(E)							
C:¥FCAPP¥TREND-ONE¥TONEData	a					参照()	<u>()</u>
びックアップをローカル現場にリストア BLUETREND Winのパックアップフ	します。 アイルはリストア対象外	です。		גנ	トア開始	<b>\$</b> \$7\t	zik

4. 確認のメッセージが表示されますので、 [はい] をクリックします。

ሀストア	$\times$
リストア現場 ■ 平成26年度 	
リストア先には、約 23.49 MByteの空き容量が必要です。 処理を続行しますか?	]

5. 移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、 [OK] をクリックします。

現場管理	∎ ×
i	現場データのリストアを終了しました。
	ОК

### 6 XAの現場データが、TREND-ONEに移行されます。



以上で現場データの移行は完了です。

# 5 「サーバー現場移行ツール」で、サーバー現場を移行

サーバーインストール(共同編集あり)のサーバー現場は、「サーバー現場移行ツール」で移行します。

1 サーバーのデスクトップに作成される、「TREND-ONE サーバー現場移行ツール」を起動します。



2. 「サーバー現場移行ツール」が表示されます。

[BLUETREND XA 現場データをコンバート] をクリックします。

🥺 サーバー現場の移行	?	×
処理を選択してください		
TREND-ONE 現場データを移行( <u>X</u> )		
BLUETREND XA 現場データをコンパート(⊻)		
コンパート元		
サーバー名(S)	参照( <u>R</u> )	
□同一サーバーにコンバート(0)		
コンバート方法(A)		
◎ すべての現場をコンバート ○コンバートする現場を選択		
BTXA現場データをTREND-ONE現場にコンバートします。 BTXA現場データが存在するサーバーを指定して下さい。 OK キャンセル		

3. [サーバー名] にXAのデータがあるサーバー名(¥¥は不要)を入力します。

コンバート元		
サーバー名( <u>S</u> )	server01	参照( <u>R</u> )
	□同一サーバーにコンバート(0)	

XAと同じサーバーにTREND-ONEのサーバーをインストールした場合は、 [サーバー名] を入力しないで、 [同一サーバーにコンバート] のチェックをONにします。

コンバート元		
サーバー名( <u>S</u> )		参照( <u>R</u> )
	☑ 同一サーバーにコンバート( <u>0</u> )	

すべてのサーバー現場を移行する場合は、 [すべての現場をコンバート] を選択します。
 サーバー現場を選択して移行する場合は、 [コンバートする現場を選択] を選択します。
 ※ 大量の現場をコンバートすると時間がかかります。

○すべての現場をコンバート    ◎コンパートする現場を選択	ンバート方法( <u>A</u> )	
	○ すべての現場をコンバート	◎コンバートする現場を選択

### 5. [OK] をクリックします。

🌆 サーバー現場の移行	?	×
処理を選択してください		
TREND-ONE 現場データを移行(X)		
BLUETREND XA 現場データをコンパート( <u>V</u> )		
- コンバート元		
サーバー名(ら)	参照( <u>R</u> ).	
▽ 同一サーバーにコンバート( <u>0</u> )		
コンバート方法(A)		
○ すべての現場をコンパート  ◎ コンパートする現場を選択		
BTXA現場データをTREND-ONE現場にコンパートします。     BTXA現場データが存在するサーバーを指定して下さい。		

[コンバートする現場を選択]を選んだ場合は、移行する現場データのチェックをONにして、 [開始]をクリックします。

現場の選択			? ×
コンバート対象工区( <u>K</u> )	コンバート対象現場( <u>G</u> ) 17:5日名 ☑[ サンブル測量設計… 弾時EDマニュアルデ	工事番号	工区名 平成26年度 平成26年度
	回[]調査±編サンブル 移行す	る現場データ	平成26年度
	OF	ェックをON	
	<		>
,	。 象外です。	全選択( <u>A</u> ) 開始	全解除(N) キャンセル

6 確認のメッセージが表示されますので、 [はい]をクリックします。



7. 移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、 [OK] をクリックします。



以上でサーバー現場の移行は完了です。

## フリーフォーマットのデータのインポート

- <u>XAの「各階平面図求積表」の初期フォーム</u>をTREND-ONEでも使いたい場合 (TREND-ONEでは新しいフォームがインストールされています。)
- TREND-ONEのインストール先がXAと「<u>別PC</u>」で、XAで作成・編集したフリーフォーマットのデータがあり、そのフォームを TREND-ONEでも使いたい場合

は、「フリーフォーマット作成」プログラムを起動してフリーフォーマットデータをインポートします。

このフリーフォーマットデータの移行は、 3 「全設定のバックアップデータから、全設定を移行」 (P.9) を 終えてから、おこないます。

※フリーフォーマットのデータのインポートは、環境にもよりますが「30分~1時間」以上かかる場合がありま す。ご注意ください。

> ※サーバーインストール(共同編集あり)(共同編集なし)の場合は フリーフォーマットデータのインポートは、いずれかの1台のクライアントPCで移行すればOKです。 (サーバーのフリーフォーマットデータにインポートされます。)

- 1. 「フリーフォーマット作成」プログラムを起動します。
  - Windows10 の場合
     [スタート] ボタンの [すべてのアプリ] [FukuiComputerApplication]
  - ●Windows8.1 の場合 スタート画面の [アプリ画面] – [FukuiComputerApplication]
  - ●Windows7 の場合

6

[スタート] ボタンの [すべてのプログラム] – [FukuiComputerApplication] – [TREND-ONE Ver.1 ツール] から [フリーフォーマット作成] を実行します。



(次ページへ続きます)

2. [ファイル] タブー [インポート] をクリックします。



「全設定の移行」でXAから移行されたフリーフォーマットデータファイル「FftV5.Dat」を開きます。
 ※「FftV5.Dat」の保存先(移行先)フォルダー

スタンドアロンの場合:

C:¥FCAPP¥TREND-ONE¥TermFiles¥FreeForm

サーバーインストール(共同編集あり)(共同編集なし)の場合:

¥¥(サーバー名)¥TREND-ONE\_Server¥TermFiles¥FreeForm

▶ 開く					×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$ $\square$ $\ll$ FCAPP $\rightarrow$	TREND-ONE > TermFiles	> FreeForm	✓ Ö FreeFo	ormの検索	δ
整理 ▼ 新しいフォルダー				≣≡ ▼ □	•
- TermFiles	▲ 名前	^	更新日時	種類	サイズ
CadTerm	C rain as		2016/10/31 10:19	FFD ファイル	64,76
CoGrTerm	FftV5.Dat		2016/10/26 11:41	DAT ファイル	11,12
Digit					
DMMark					
DMMaster					
FreeForm					
Lager					
LocalTerm					
Param					
PlotMark	U E				>
 ファイル名( <u>N</u> ):	FftV5.Dat		〜 フリー:	フォーマットデータ ファイル( 〈( <u>O)</u> ▼ キャン・	*.ffc 〜 セル

**4** XAのフリーフォーマットのデータが読込まれます。

※環境にもよりますが「30分~1時間」以上かかる場合があります。ご注意ください。

フリーフォーマットデータのインポート	?	×
インボートするフォーム(アプリケーション・グループ)に、 チェックを付けて下さい。		
<ul> <li>□-ダー フォームの一覧</li> <li>□-ダー 14条調査表</li> <li>□-ダー 1±地調査書</li> <li>□-ダー 1±地調査書</li> <li>□-ダー 2±地調査書</li> <li>□-ダー 2±地調査書</li> <li>□-ダー 2± 2± 2± 2±</li> <li>□-ダー 2± 5± 2±</li> <li>□-ダー 2 (石川)</li> <li>□-ダー 2 (石)</li> <li>□-ダー 5 (石)</li> <li>□-ダー 5 (石)</li> <li>□-ダー 5 (-7, 2)</li> <li>□- 5 (-7, 2)</li> <li>□- 5 (-7, 2)</li></ul>		~
編集フォームを選択(U) 全て選択(A)	全て解除	€ <mark>(C</mark> )
1/#~->	閉じる	5

5. [全て解除]をクリックします。 ※重要:必ずおこなってください。

フリーフォーマットデータのインポート	? >	
インポートするフォーム(アプリケーション・グループ)に、 チェックを付けて下さい。		
編集フォームを選択( <u>U</u> ) 全て選択( <u>A</u> )	全て解除( <u>C</u> )	
インボート	閉じる	

6. [編集フォームを選択]をクリックします。

BLUETREND XA で、ご自身で作成・編集したフリーフォーマットのデータのチェックがONになります。



XAの「各階平面図求積表」の初期フォームをインポートする場合は

[編集フォームを選択]をクリックしても、XAの「各階平面図求積表」の初期フォームはチェック ONになりません。

インポートする場合は「CAD」の「各階平面図求積表」を開いて、インポートするフォームのチェックをONにします。



(次ページへ続きます)

7. 移行するフリーフォーマットデータ(チェックがON)を確認し、よろしければ [インポート] をクリックします。



8 確認メッセージで [OK] をクリックします。



9 インポートの終了メッセージで [OK] をクリックします。



10.「フリーフォーマット作成」プログラムを終了します。

以上でフリーフォーマットのデータのインポートは完了です。

## 現場のバックアップ・リストアを使用しない現場データの移行方法

現場データのバックアップ・リストアは、データが多いと時間がかかる場合があります。

現場データの移行は、次の方法(未登録現場を登録)でも可能です。

※ バックアップ・リストアより短い時間で移行できます。

※ 一番早く移行できるのは、「現場データ移行ツール」です。

1. エクスプローラーで現場データとリンクデータをコピーする

XAの現場データフォルダーとリンクデータフォルダーの中身を、TREND-ONEの現場データフォルダーとリンクデータフォルダーに コピーします。(以下参照)

ローカル現場:コピー元 → コピー先

「¥BTXA¥BTXAData」フォルダー → 「¥TREND-ONE¥TONEData」フォルダー

「¥BTXA¥XALinkData」フォルダー → 「¥TREND-ONE¥TOLinkData」フォルダー

サーバー現場:コピー元 → コピー先

[¥BTXAServer¥BTXASvData]フォルダー → [¥TREND-ONE\_Server¥TRENDONESvData]フォルダー [¥BTXAServer¥XALinkData]フォルダー → [¥TREND-ONE\_Server¥TOLinkData]フォルダー



2. 現場管理で、 [メンテナンス] タブー [未登録現場を登録] を実行する



### 3. 現場管理で、 [メンテナンス] タブー [リンクフォルダーの一括変更] を実行する

